

平成 28 年(2016 年) 5 月 17 日 <No-4>

長野県松本家畜保健衛生所
〒390-0851 松本市島内西川原 6931
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp
中信家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0263-47-6789

かほだより

農林水産省が「牛ウイルス性下痢・粘膜病に関する
防疫対策ガイドライン」を策定しました

公共牧場入牧前にBVDV※の検査とワクチン接種！

※牛ウイルス性下痢ウイルス

国内における本病の発生が増加しているため、国は「牛ウイルス性下痢・粘膜病に関する防疫対策ガイドライン(以下「ガイドライン」)」を策定しました。

松本家畜保健衛生所では引き続きガイドラインに沿った防疫対策を推進しますので、牛飼養者及び畜産関係者にとっては、積極的な取り組みをお願いします。

1 ガイドラインの概要

(1) 発生予防対策

ア 本病に関する知識の普及、啓発

- 牛ウイルス性下痢・粘膜病の詳細や推奨されるワクチンプログラム、当所での取り組みの詳細などについては既発の「かほだより」、松本家畜保健衛生所のホームページをごらんください。なお、御不明な点は直接当所へお問い合わせください。

イ 適切な飼養衛生管理

- 飼養衛生管理基準の遵守等を実践してください。

ウ 導入牛からの侵入の防止

- 導入牛の抗原検査を行い、持続感染牛(以下、P I 牛)でないことを確認してください。
- 預託牧場、公共牧場等は、飼養農場で実施した抗原検査が陰性の牛のみ預託を受けるように努めてください。

エ 予防接種の励行

- P I 牛の産出リスクを低減させるため発生状況等に応じて予防接種をしてください。

(2) まん延防止対策

ア 繁殖雌牛等は P I 牛を摘発するための抗原検査を受けてください。

- バルク乳やヨーネ病検査時のプール血清等を用いた抗原検査。
- スクリーニング検査で陽性になった農場では各個体ごとに抗原検査。
- 個体ごとの検査で陽性になった牛については、少なくとも3週間の間隔をあけて再度抗原検査を行って P I 牛を判定。

イ P I 牛が摘発された農場(以下、陽性農場)における対応

- P I 牛が摘発された場合は自主的とう汰を行い、とう汰以降10か月間に産まれた新生子牛は、出生後速やかに抗原検査を行ってください。
- P I 牛が導入牛であった場合には、陽性農場及び導入元においても各個体ごとに抗原検査を行ってください。

○P I牛が導入牛の分娩子牛（導入時に胎児であった牛に限る。）であった場合には、導入元、当該導入牛に種付けを実施した農場及び種付けを実施した後導入元に至るまでの間に所在した農場において、各個体ごとに抗原検査を行ってください。

(3) 自主的とう汰の推進

P I牛が摘発された場合には、当該P I牛及びその産子について、速やかに自主的とう汰をお願いします。

中信家畜畜産物衛生指導協会では、本年度からP I牛の自主的とう汰を推進するため、一般社団法人長野県畜産会の委託（農林水産省 食料安全保障確立対策事業）によりP I牛をとう汰した場合のとう汰奨励金をお支払いする事業を行っています。

松本家畜保健衛生所管内の牛ウイルス性下痢ウイルスの状況

平成27年度実績

検査頭数	:	2,771頭
P I牛摘発頭数	:	5頭（うち放牧予定牛1頭）
P I牛自主的とう汰頭数	:	5頭

2 中信家畜畜産物衛生指導協会では、昨年度に引き続き放牧牛等を対象としたBVDV及びBLV検査事業を実施していますのでご活用ください。

中信家畜畜産物衛生指導協会による検査事業の概要

1 牛ウイルス性下痢ウイルス（BVDV）

(1) 検査対象牛：放牧予定牛等

(2) 検査手数料：300円／頭

検査結果が出るまでに1～2週間かかるため、入牧などのスケジュールに余裕をもってお申し込みください。

(3) 結果は中信衛指協からお知らせします。（検査機関は細菌微生物化学研究所又は松本家保）

2 牛白血病ウイルス（BLV）

(1) 検査対象牛：放牧予定牛及び、過去の検査で陽性牛が確認されている農場の陰性牛・未検査牛

(2) 検査手数料：415円／頭【免疫学検査(830円／頭)の半額補助(国の助成事業を活用)】

平成28年度に放牧予定の牛については、本年3月以降に採血した血液での検査が必要です。検査結果が出るまでに1～2週間かかるため、入牧などのスケジュールに余裕をもってお申し込みください。

* 「BVDV」と「BLV」は同じ血液で検査が可能です。両方の検査を併せて行うことをお勧めします。

採血は臨床獣医師(中信衛指協指定獣医師)に依頼してください。

なお、本年度ヨーネ病検査が予定されている農場ではヨーネ病検査用血液でも検査可能です。

担当：宮澤、徳武(防疫課)

菅沢(中信衛指協)



しあわせ信州